

書評

メキシコ法概観

(Panorama del Derecho Mexicano)

横田一太郎

る。

ラテン・アメリカ諸国は共通の言葉（スペイン語、フランス語、ポルトガル語、ハイチはフランス語）と文化を有しており、独立当時の政治的環境、風土等の諸条件によつて類似の経済構造、社会構造、国民性が形成されていると考えられる。

一般的に看ればラテン・アメリカ諸国の私法は大陸法系に属しているが、公法は北方に隣接するヨモン・ローフ法系の合衆国の影響を多分に受けている。特にラテン・アメリカ諸国の憲法は合衆国憲法典の示唆を受けて制定されている。

メキシコ共和国は独立後既に一五〇年以上を経過してラテン・アメリカ諸国は独立後既に一五〇年以上を経過して、本書は、序文において述べられてゐる通り一九六二年国際法学協会 (La Asociación Internacional de Ciencia Jurídica) が René David, Hamson, Yntema 其の他の比較法学者の提案に基いて、メキシコの法体系或は法律制度の説明をなすよう勧告され、これに応じて、メキシコ比較法研究所が「メキシコ法の概観」として発刊したものである。

おり、一部には既に農業国から工業国へと躍進を続いている国（たとえばメキシコ、アルゼンチン、ブラジル）もあり、他方ではモノカルチャーの段階に留つてゐる国（たとえばグватマラ、エクアドル）もあるべく、経済的格差も著しいものがあ

メキシコ法概観

本書は二巻より成り、ロモノ・ロー法系の学者にも、大陸法系の学者にも、メキシコ法の概括を知るためのよい道しるべとなるよう、メキシコ法学界各分野の専門家により執筆されており、メキシコ法の案内書として絶好のものと思われる。各科目的章別及び執筆者が列挙する参考文献を挙げれば次の通り。

第一部 メキシコ憲法概説

(Síntesis de Derecho Constitucional)

メキシコ自治大学法学部 Daniel Moreno 教授執筆

第一章 歴史的概観

第二章 共和国憲法、現行憲法は一九一七年二月五日に憲法議会で採択され同年五月一日に施行された。

この憲法においては伝統的に使用されていた基本的人権 (los derechos del hombre) 以外の言葉は、「個人の保障」(Garantías individuales) 以外の言葉は、「個人の保護」(Garantías del hombre) である。この憲法は、自然法 (derecho natural) を基いて、行政権の権限を制限すると、いう新しい考えを制度化している。憲法第一条は「メキシコ合衆国に於ては、凡ての個人はこの憲法の与える保障を享受し、この保障は憲法の定める場合と条件によひなければ制限したりまたは停止することを得ない」と定めている。

連邦政府の政治形態は、立法、行政および司法の三権に分け

られていく。

第二章 国籍及び市民権 (Nacionalidad y Ciudadanía)

(1) 出生による国籍取得について、*Jus soli* (属地主義) 及び *jus sanguinis* (属血主義) の折衷の主義を採っている。すなわち(1)両親の国籍のいかんを問わず共和国で出生した者、(2)外国において、メキシコの両親より出生した者、メキシコ人の父及び外国人の母より生れたる者、または、メキシコ人の毎から出生し、父の不明の者、(3)軍用或は民間用いかんを問わず、メキシコの艦船或は航空機内において出生したる者は、メキシコ国籍を取得する。

(2) 帰化による国籍取得については、(1)外務省 (la Secretaría de Relaciones) から帰化証明書 (Carta de naturalización) を取得した者及び、(2)メキシコ人と結婚した外国婦人 (メキシコ国内に住所 (domicilio) を有する者) の場合を定めている。

第四章 選挙権 (sufragio)

第五章 三権分立

第六章 立法権 (Poder legislativo)

メキシコ合衆国の立法権は上院 (Senadores) 下院 (Diputados) からなる議院 (Congreso) が属する。

第七章 行政権は大統領 (El Presidente de la República)

に属する。大統領は出生によるメキシコ市民で満二十五歳以上の者が直接選舉による選出される。任期は六年である。

第八章 司法権 (Poder Judicial) は最高裁判所 (Suprema Corte de Justicia) 沿岸裁判所 (Tribunales de Circuit) 及び区裁判所 (Juzgados de Distrito) に属する。

第九章 憲法の擁護 (Defensa de la Constitución)

第一〇章 地方制度 (Régimen Federal)

第一一章 國家と教會 (El Estado y la Iglesia)

第一二章 憲法改正 (Reformas Constitucionales)

参考文献 (憲法)

José M del Castillo Velasco. 「メキシコ憲法学ハーネス」 メキシコ
ノン社 1879

Mariano Coronado. 「メキシコ憲法歌譜」 クラシカル社 1961

Mario de la Cueva. 「憲法」 教養叢書 メキシコ社 1886

José M. Gamboa. 「十九世紀のメキシコ憲法」 メキシコ
ノン社 1901

Enrique González Flores. 「憲法便観」 ラ・ムル・・アルーノ
社 1958

Manuel Herrera y Lasso. 「憲法研究」 ポリベ出版社 1940

Miguel Lanz Duret. 「メキシコ憲法」 メキシコ社 1951

メキシコ憲法概観

Serafina Ortiz Ramírez. 「メキシコ憲法」 メキシコ社 1961

(歴史的展開、個人の保護、人身保護裁判所)

Emilio Rabasa. 「メキシコの政治機構」 (憲法と独裁) 1917

マヌエル・トメロ出版社

Ramón Rodríguez. 「憲法」 (陸軍士官学校生徒用教科書) 第二回 メキシコ社 1875

Felipe Tena Ramírez. 「メキシコ憲法」 メキシコ市ボルネート
出版社 1961

Felipe Tena Ramírez. 「メキシコ基本法律 (1803~1957)
ボルネート出版社 1957

Juan de la Torre. 「メキシコ憲法研究指針」 メキシコ市
出版社 1920

Jorge Vera Estañol. 「一九一七年憲法の限界」 ロベト・ソニア
社 1920

第一部 行政法概説
(Síntesis del Derecho Administrativo)
メキシコ政治大学出版社 Cabino Fraga 教養叢書

第一章 序説 (Introducción)
第二章 行政組織 (Organización Administrativa)
第三章 行政活動 (Actividad Administrativa)

- 第四章 財政制度 (Régimen Fiscal)
 第五章 国有財産制度 (Régimen Patrimonial)
 第六章 行政裁判 (Justicia Administrativa)
- 参考文献 (行政法)
- José Algara. 「行政訴訟の歴史」 法律及判例雑誌 1889
 Narciso Bassols. 「新農業法」 メキシコ市 1927
 Flores A. Carrillo. 「行政に対する個人の法的保護」 メキシコ市 1939
 José María Castill Velasco. 「メキシコ行政法雑感」 メキシコ市 1874
 Manuel Cruzado 「行政法の基礎」 メキシコ市 1895
 Asante R. Chellet. 「メキシコ共和国行政組織と政治」 メキシコ市 1955
 Gabino Fraga 「行政法」 第10版 メキシコ市 1963
 Manuel Fraga M. 「行政と公共事業」 メキシコ市 1955
 Nicéforo Guerrero. 「行政法ハンドブック」 グアナフトーレ 1929
 Teodosio Lares. 「行政法教程」 メキシコ市 1852
 Jorge Olinera Toro 「行政法必携」 メキシコ市 1963
 Jacinto Pallares. 「メキシコ民法補足連邦法」 メキシコ市 1897
 Eduardo Ruiz. 「憲法における行政法」 メキシコ市 1888
- 第三部 保護訴願法概説
 (Síntesis del Derecho de Amparo)
- 比較法研究所 Hector Fix Zamudio 研究員執筆
- 第一章 歴史的概観
 第二章 保護訴願審判機構と手続の発展
 第三章 現行制度
 第四章 保護訴願の機構
 第五章 保護訴願手続当事者
 第六章 訴願の目的
 第七章 保護訴願の却下及ら棄却
 第八章 訴願手続
- Andrés Serra Rojas. 「行政法」 メキシコ市 1961
 Carlos Trejo Lerdo de Tejada. 「メキシコ行政法」 成立と発展 1810～1910
 Salvador Urbina. 「行政法ハンドブック」 メキシコ市 1906
 Ignacio Vallarta. 「憲法」 メキシコ市 1894
 Gustavo R Velasco. 「メキシコ行政法の発展」 (1912～1942)
 Jorge Vera Estañol 「憲法上の諸問題」 メキシコ市 1923
 Francisco Zarco 「市憲法制定議会の歴史」 メキシコ市 1857

- 第九章 仮決定
 第一〇章 判決

第一一章 苦情代替
 第一一章 指訴
 第一三章 判例

第一四章 保護訴願法審判関係者の責任
 参考文献（保護訴願法）

一、古典的参考著書

Federico M del Castillo Velasco 「保護訴願裁判の起原と論理」 メキシコ市 1899

Francisco Cortés 「憲法上の保護訴願」 メキシコ市 1907

José María Iglesias 「裁判所の権限に関する憲法上の研究」 メキシコ市 1874

José María Lozano 「基本的人権論」 メキシコ市 1876

Ignacio Mariscal 「保護訴願裁判に関する考察」 メキシコ市 1878

Miguel Mejía 「憲法上の喪失」 メキシコ市 1886

Isidro Montiel Duarte 「メキシコ公法」 第1卷 1871 第11川綱 1883 第4卷 1871

Silvestre Moreno Cora 「連邦裁判所の判決による保護訴願」 メキシコ市 1906

Jacinto Pallares 「正法権」 メキシコ市 1874

Emilio Rabasa 「憲法第一四条の研究」 メキシコ市 1906

Emilio Rebasa 「憲法上の裁判」 メキシコ市 1919

Emilio Rabasa 「憲法と独裁」 メキシコ市 1956

Isidro y García Rojas Francisco Pascual 「保護訴願法とその歴史」 メキシコ市 1907

Manuel Ruiz Sandoral 「保護訴願裁判の訴訟手続」 メキシコ市 1896

Demetrio Sodi 「連邦訴訟手続」 メキシコ市 1912

Ignacio Vallarta 「保護訴願裁判と人身保護令状」 メキシコ市 1881

Ignacio Vallarta 「民事訴訟権」 第1版第1・11卷 1894 第111卷 1896 第4卷

Fernando Vega 「新保護訴願法」 メキシコ市 1883

Miguel Alatriste de la Fuente 「保護訴願裁判と民事破棄指訴」 メキシコ市 1948

Mariano Azuela 「法律違反に対する保護訴願の研究」 メキシコ市 1957年3月号

Narciso Bassols 「保護訴願に関する最高裁の差戻及び破棄」

メキシコ法概観

- メキシコ市 1930
Ignacio Burgos 「保護訴願裁判」 メキシコ市 1962
Ignacio Burgos 「農業事件における保護訴願」 メキシコ市 1964
Antonio Carrillo Flores 「行政に対する個人の防衛」 メキシコ市 1939
Juventino Castro 「保護訴願裁判における私情の代替」 メキシコ市 1953
Ricardo Couto 「保護訴願停止論」 メキシコ市 1957
Carlas A. Echáñone Trujillo 「メキシコ・ノモンの精神的不安な生類」 メキシコ市 1941
Carlos A. Echáñone Trujillo 「メキシコ保護訴願論」 メキシコ市 1949
Héctor Fix Zamudio 「メキシコ裁判権の研究」 メキシコ市 1961
Héctor Fix Zamudio 「保護訴願裁判」 メキシコ市 1964
Jorge F. Mariano Otero Gaxiola 「保護訴願裁判の創設者」 1937
Octavio A. Hernández 「メキシコ合衆国憲法」 メキシコ市 1946
Miguel Lanz Duret 「メキシコ憲法及び政治の実態に関するもの」 1964
都察 メキシコ市 1959
Aurelio de León 「保護訴願便覽」 メキシコ市 1934
Romeo León Orantes 「保護訴願裁判」 メキシコ市 1957
Ramón J. Palacios 「最高裁判所と違憲法律」 メキシコ市 1962
Ramón J. Palacios 「保護訴願制度」 メキシコ市 1963
Manuel Rangel y Vázquez 「法律の合憲性維持及ぶ連邦に係る保護訴願訴訟」 メキシコ市 1952
Rodolfo Reyes 「憲法の擁護」 メキシコ市 1934
Alejandro Ríos Espinoz 「保護訴願の判決破棄」 メキシコ市 1960
Rómulo Rosales Aguilar 「保護訴願の裁判書式」 メキシコ市 1956
Mario Sotomayor Flores 「保護訴願裁判における異議申立て論」 メキシコ市 1928
Ignacio y Liévana Palma, Gilberto Soto Gordo 「保護訴願裁判における異議申立て」 メキシコ市 1959
最高裁判所「メキシコ・ノモン・クノベヤンシホーノホン」に対する敬意表明 メキシコ市 1960
Felipe Tena Ramírez 「メキシコ憲法」 第七版 メキシコ市

Felipe Tena Ramírez 「基本の人権保護手段、メキシコ保護
訴願」法律通信時報第一六九号一九六一年九月
Luis del Toro Calero 「農事関係保護訴願裁判」メキシコ市
1964
Gaspar Trigo 「労働問題における保護訴願停止」メキシコ市
1940

Jorge Trueba Barrera 「労働問題に関する保護訴願裁判」
メキシコ市 1953

Alberto Trueba Urbina, Jorge Trueba Barrera 「新保護訴
願制度」(導論と判例) メキシコ市 1964
Carlos Villegas Vazquez 「保護訴願裁判における異議申立
停止事件」メキシコ市 1959

第五章 現行農業法典 (a)手続法
第六章 現行農業法典 (b)ナレーブ関係手続法
第七章 国民農業登記
第八章 農事関係罰則
第九章 農業改革補足法
参考文献 (農業法)
I. アメリカ大陸発見前の時期
Orozco y Berra 「古代歴史のメキシコ征服」 1880
J. Kohler 「トベトーカ法」法律自由学校 1924
Mendieta y Nuñez Lucio 「アメリカ発見以前の法」

II. 植民地時代
植民地法令集 (Recopilación de las Leyes de Indias)
Francisco F de la Maza 「植民地法典及び共和国の未開墾
地」

Manuel Payno 「土地所有論」メキシコ市 1869
E. Palleres 「メキシコ民法典」メキシコ市 1897

III. 現代

一九四二年十一月三十日農業法典 (Código Agrario)
Molina Enríquez Andrés 「メキシコの重大問題」 1909
González Roa Fernando 「メキシコ革命と農業部門」
Mendieta y Nuñez Lucio 「メキシコ農業問題」八版メキシ
コ農業法典 (b)実体法
第四章 現行農業法典 (b)実体法
第五章 農業法概観

メキシコ法概観

一九〇

口市ポルーナ書店 1964

Mendieta y Núñez Lucio 「農業法研究案内」メキシコ市ポルーナ書店

Mendieta y Núñez Lucio 「憲法における農業制度」メキシコ市ポルーナ書店

口市 ポルーナ書店

第五部 労働法概説

(Síntesis del Derecho del Trabajo)

メキシコ自治大学 Mario de la Cueva 法学部教授執筆

第一章 労働法の歴史

メキシコ労働法の歴史的説明

第三章 一九一七年憲法における社会宣言の動機

第四章 社会法宣言の本質

一般制度

第六章 労働に対する個人の権利

第七章 企業利益への労働者参加

第八章 婦人および未年年者の労働

第九章 社会保障

第一〇章 労働に関する団体交渉権

第一章 労働関係諸官憲

(労働法に関する参考文献の記述なし)

第六部 刑法概説

(Síntesis del Derecho penal)

メキシコ自治大学法学部 Fernando Castellanos 教授執筆

第一章 メキシコ刑法の史的発展

第二章 刑法の法典化

第三章 刑法の來歴

第四章 メキシコ刑法の統一化(連邦刑法州刑法)

第五章 刑法の問題点

第六章 刑罰機關

第七章 裁判権と権限

第八章 一九三一年刑法法典の内容

第九章 メキシコ刑法関係主要著書

一、 Demetrio Sodi 「我国刑法」(一八七一年刑法)

二、 José Almaraz 「犯罪動機の研究」(一九一九年刑法)

三、 Alfonso Teja Zabre 「犯罪動機の研究」(一九三一年刑法)

José Angel Ceniceros 「同上問題に就き」

四、 Luis Garrido 「メキシコ刑法」

五、 Francisco González de la Vega 「メキシコ刑法解釈」

六、 Raúl Carrancá 「刑法総論」

七、 Trujillo 「メキシコ刑法」

参考文献（刑法）

Ricardo Abarca 「メキシコ刑法」 メキシコ出版会社
1941

Julio Aceró 「刑事訴訟法」 カタマリバーナ出版社
社 1939

Carlos H. Alba 「トスチカ法及びメキシコ実定法比較研究」
メキシコ市 米州土着文化研究所出版 1949

Nieto Alcalá Zamora y Castillo 「刑事訴訟法講義要綱及
る基本的研究文献」 メキシコ市 アルティーナ印刷会社
1957

José Almaraz 「刑法典における動機に関する解説」 メキシ
コ市 1931

Constancio Bernaldo de Quijós 「犯罪学」 ポルトガル市 ポ
ルトガル・カヌーラ 1948

Raúl F Cárdenas 「メキシコ刑法」 メキシコ市ハス出版社
1962

Francisco Carrara 「刑法講義要綱」 ボロタ市テスコ出版社
1959

Raúl Carrancá Trujillo 「メキシコ刑法」 メキシコ市ロドン
一社 1955

Raúl Carrancá Trujillo 「刑法典註釈、用語整理、判例、外
國法の比較的的研究」 メキシコ市ロドン一社 1961

メキシコ法概観

国法の比較的研究」 メキシコロゴスム書店 1962

Fernando Castellanos Tena 「刑法の基礎概論」 (総論) ×
メキシコ市メキシコ法律出版社 1959

José Angel y Garrido, Luis Ceniceros 「メキシコ刑法」 ×
メキシコ市メキシコ出版社 1934

A. Chanero 「惩罚の歴史」 メキシコ市クノゲン出版社 1956

Guillermo Colín Sánchez 「メキシコ刑事訴訟法」
Fugenio Cuello Calón 「刑法」 メキシコ市 1947

Toribio Esquivel Obregón 「メキシコ法編史ハーネ」 メキシ
コ市モロベ出版社 1937

Luis Fernández Doblado 「有責性と錯誤」 (刑法定説試案)
メキシコ市 1950

Ricardo Franco Guzmén 「犯罪と不正行為」 (違法性構成の
概論) メキシコ市 1950

Carlos Franco Sodi 「刑法概論」 (総論) メキシコ市モーラ
出版社 1950

Carlos Franco Sodi 「メキシコ刑事訴訟法」 メキシコ市モル
ー社 刑法出版社 1946

Rafael Garofalo 「犯罪学」 ブラジル 1890

Juan José González Bustamante 「メキシコ法の歴史」 商事銀行
監修の刑法上部要綱」 メキシコ市モーラ社 1961

- Juan José González Bustamante 「ヘキシル刑事論証法原論」 三版 ヘキシル刊行会 1959
 Francisco González de la Vega 「ヘキシル刑法」 (犯罪)
 ハセキシル刊行会 1961
- Francisco González de la Vega 「詮解刑法」 ヘキシル市立
 画出版社 1939
- Luis Jiménez de Asúa 「法律と犯罪」 (刑法原論講義) カリ
 ナス社トハムハム 1945
- Mariano Jiménez Huerta 「犯罪概説」 (行為ならば犯罪
 たゞ) ヘキシル市立海沿大学 1950
- Mariano Jiménez Huerta 「違法性」 ヘキシル自治大学 19
 52
- Mariano Jiménez Huerta 「促制性」 ヘキシル刊行会 1955
 講社 1955
- Mariano Jiménez Huerta 「ヘキシル刑法」 (生命と身体と
 てくやる刑法上の問題) ヘキシル刊行会 1958
 ハセキシル刊行会 1931
- Miguel S. Macedo 「ヘキシル刑法史ノート」 ヘキシル市立
 ハセキシル刊行会 1958
- Antonio de P. Moreno 「ヘキシル刑法講義」 (特殊犯罪) ヘ
 キシル市立出版社 1944
- Ramón J. Palacios 「未遂行為」 ヘキシル自治大学 1951
 ハセキシル出版社 1944
- Francisco Pavón Vasconcelos 「ヘキシル刑法概論」 ヘキシ
 ル出版社 1961
- Francisco Pavón Vasconcelos 「刑法註釈」 (新説、横領詐
 摘) ヘキシル法律出版社 1960
 Javier Piña Palacios 「刑事論証法 (刑法上の保護ハーツ)
 ヘキシル刑務所出版所 1948
- Celestino Porte Petit 「ヘキシル比較刑法制度」 (総論) ヘ
 キシル市立 1946
- Celestino Porte Petit 「刑法總體要綱」 ヘキシル市立ヘキシル
 海沿大学 1958
- Celestino Porte Petit 「刑法理論の重要性」 ヘキシル市況米
 丘福社 1952
- Celestino Porte Petit 「生命及び身体に対する犯罪」
 Francisco Javier Ramos Bejarano 「着手未遂行為」
- Manuel Rivera Silva 「刑事論証法」 三版 ヘキシル市立
 トハムハム 1963
- Demetrio Sodi 「ねが國刑法」 (正増補第11版) ヘキシル市
 トハムハム 1917
- Alfonso Teja Zabre 「連邦法とてくやる刑法典の動因解説」
 ハセキシル市立出版社 1938
- George Clapp Vaillant 「トハムハム文化」 ヘキシル市羅波文

化藏書 1955

Ignacio Villalobos 「メキシコにおける刑法の危機」メキシコ市ハベ出版社

市ハベ出版社 1948

Ignacio Villalobos 「犯罪の動勢」メキシコ市ハベ出版社

社 1952

Ignacio Villalobos 「犯罪の法的概念」メキシコ市ハベ出版社

1955

Ignacio Villalobos 「メキシコ刑法」(総論)メキシコ市ボルネー

アーテ出版社 1960

第七部 刑法概説

(Síesis del Derecho Civil)

メキシコ比較法研究所研究員 Aguilar Gutiérrez 氏執筆

第一章 メキシコ民法の史的展開

第二章 民法一般論

第三章 人(①自然人 ②法人)

第四章 親族 (la familia)

第五章 物 (los bienes)

第六章 債権 (las obligaciones)

第七章 契約 (los contratos especiales)

第八章 一般登記 (el registro público)

メキシコ法概説

(法律行為の区分性)

第九章 相続 (las sucesiones)

参考文献(民法)

Antonio Aguilar Gutiérrez 「契約の発展」比較法研究所雑誌一九五五年乃一月至四月

Antonio Aguilar Gutiérrez 「契約の準備と締結及び契約締結前の責任」比較法研究所雑誌一九五〇年乃一月至四月

Antonio Aguilar Gutiérrez 「契約の準備及び契約の締結」比較法研究所雑誌一九五〇年乃一月至四月

Antonio Aguilar Gutiérrez 「自動車損害責任」国立法律学

校雑誌一九四四年7~12

Antonio Aguilar Gutiérrez Julio Derbez Muro 「メキシコ

民事法制の展開」メキシコ大学出版社 1960

Emilio Beeti 「法律上の取扱いに関する一般理説」メキシコ

1959

Manuel Borja Soriano 「債権一般理説」メキシコ市 1939

~1944

J. Gastán Tobeñas 「新メキシコ民法典」法律学一般雑誌

1930

J. M. Cajica 「メキシコ法例、アルファベット索引」メキシコ

1951

- Ricardo Couto 「メキシコ政治」(人) メキシコ市 1919
 Margarita de la Villa, José Luis Zambrano 「メキシコ法文翻訳」メキシコ市 1947
 Máximo H. Díaz 「新民法典用語辞典」一般法律学雑誌 19
 31
 Agustín García Lórez 「債権授業ノート及び製紙」メキシコ市 1939
 Gabriel García Rojas 「債権授業ノート」メキシコ市 1938
 Ignacio García Téllez 「メキシコ新民法典の動機、協力及
 る影響」メキシコ市 1932
 Trinidad García 「法研究入門」メキシコ市
 1944
 José Gomís Solar, Luis Muñoz 「メキシコ民法、序説、物
 権、債権一般論」メキシコ市 1948
 Marcel Gual Vidal 「債権授業ノート」メキシコ市 1939
 Manuel Gual Vidal 「危険物使用上の民事責任」国立法律学
 校雑誌一九四〇年 7~12
 Ernesto Gutiérrez y González 「債権論」
 Antonio Ibarrola 「鉱産の相続」メキシコ市 1957
 Luis G. Labastida 「民事会社、宗教財産の解放及び国有化
 の問題」メキシコ法、大統領令及諸規則集」メキシコ市 1893
 一九一六年九月十五日付所得税法
 一九一六年十二月十四日付所得税に関する大統領令メキシコ
 市 1918
 Julio López de la Cerdá 「損害に関する民事責任の研究」
 メキシコ市 1940
 José María Lozano 「連邦直轄民法典」メキシコ市 1872
 Miguel S. Macedo 「連邦直轄区及び低カルフォルニア領土
 の此法研究資料」メキシコ市 1884
 Pablo Macedo 「此法の発展」メキシコ市 1942
 Manuel Mateos Alarcón 「メキシコ民法講義」六卷 1895
 ~1900
 Manuel Mateos Alarcón 「メキシコ独立以来の民法の発展」
 メキシコ市 1911
 Francisco Messineo 「民商法便覧」八巻アヘン・トインペ
 1954
 Jacinto Pallares 「法廷に於て屢々適用され、法典化された
 法規」メキシコ市 1892
 Rafael de Pina 「メキシコ此法の基礎」メキシコ市 1956
 Marcel Planiol 「民法原論」七巻 スペイン語版アヘン市
 1947
 Jorge Reyes Tayabas 「契約改訂動機について法外な生存者負

「ヨーロッパ」 × キシナ市 1958	mercantiles)
Rafael Rojina Villegas 「政治小説」 × キシナ市 1963	第五章 商事会社 (Las Sociedades Mercantiles)
Francisco H. Ruiz 「私法の社会化」一九二八年民法典 国立法律学校雑誌31巻	第六章 流通証券 (Los títulos valor)
O. Justo Sierra 「× キシナ 政府提案民法典」 × キシナ市 1961	第七章 商事債務及び契約
Ignacio Soto Gordo 「政治研究序説」 × キシナ市 1955	第八章 商事裁判手続法 (Derecho Procesal Mercantil)
Augustin Verdugo 「Justo Sierra 博士記念文集」 × キシナ 民法典案文の改訂」 11巻 1900～1903	第九章 商事関係著書
Agustín Verdugo 「× キシナ 政治の諸原則」 5巻 1865～1890	A Joaquín Rodríguez Rodríguez (1) 「商事会社論」 (Tratado de Sociedades Mercantiles) (2) 「商法講義」 (Curso de derecho mercantil) Roberto L. Matilla Molina 「商事法」 (Derecho mercantil)
第八部 商法概説	Jorge Barrera Grof 「商法論」 (Tratado de derecho mercantil) 総論及商企業、工業所有権等の闡究研究
(Síntesis del Derecho Mercantil)	Roberto A Esteva, Raúl Cervantes Ahumada 「信用証券及其他 Ángel caso, Octavio y Arturo 最近ラザ Rafael De Pina Vara 等の著書がある。
× キシナ 血泪大学法学校 Roberto L. Mantilla Molina 教諭	第一章 商事適用問題 (La materia mercantil)
執筆	第二章 商事関係法の法源 (Las fuentes del derecho mercantil)
第一章 商事の歴史的説明	第三章 商事関係法の法源 (Las fuentes del derecho mercantil)
第三章 商事関係法の法源 (Las fuentes del derecho mercantil)	第四章 商人及び商關係事項 (Las personas y las cosas)
第四章 商人及び商關係事項 (Las personas y las cosas)	メキシコ比較法研究所 Niceto Alcalá-Zamora 基礎問題論著 メキシコ法概観

民事訴訟文獻

Rafael de Pina, José Castillo Larranaga 「民事訴訟緯観」
長編 メキシコ市 1963José Becerra Bautista 「メキシコ民事訴訟法」全111巻メキシコ
ナシテラリス 1955José Becerra Bautista 「民事訴訟法研究入門」メキシコ市
1957Aurelio Campillo Camarillo 「民事訴訟法ハーネル」メキシコ市
ナシテラリス 1939Aurelio Campillo Camarillo 「民事訴訟原論」全八卷 ベラ
-ズナ 1924~8Cesáreo L. Gongález 「民事訴訟法及び関係問題ハーネル」全
四編 メキシコ市 1914~26

Aurelio de León 「民事訴訟要綱」メキシコ市 1941

Aurelio de León 「民事訴訟法便覽」メキシコ市 1928

Adolfo Meldonado 「民事訴訟法」(新証商事制度) メキシコ
ナシテラリス 1947

Adolfo Maldonado 「民事訴訟法原論」メキシコ市 1934

Eduardo Mateos Alarcón 「民事訴訟論」メキシコ市 1919

Eduardo Pallares 「民事訴訟法」第1版 メキシコ市 1961

Eduardo Pallares 「民事訴訟法緯観」第4版 メキシコ市
1963

111' 商事訴訟法

Niceo Alcalá-Zamora y Castillo 「商事訴訟」

José R. Castillo 「商用商事裁判」(商人企業家必覧)
Antonio de Jesús Lozano, Aniceto Villamar メキシコ市
商事論述法」メキシコ市 1902Eduardo Pallares 「商事裁判書式集」11版 メキシコ市 19
46Eduardo Pallares 「商事裁判書式及び判例集」メキシコ市
1960

Eduardo Pallares 「破産論」メキシコ市 1937

Federico Ramírez Bano 「商事裁判論」メキシコ市 1963

Joaquín Rodríguez y Rodríguez 「破産法及び支払停止等」
メキシコ市 1943

111' 商事訴訟法

Julio Aceró 「商事訴訟法」メキシコ市 1931

Niceto Alcalá-Zamora y Castillo 「商事訴訟法裁判論」
基礎的参考文獻」メキシコ市 1957

José R. Castillo 「刑事裁判の実際」メキシコ市 1916

Guillermo Clín Sánchez 「メキシコ刑事訴訟法」メキシコ市 1964

Juan José González Bustamante 「メキシコ刑事訴訟法」

メキシコ市 1941

Javier Piña y Palacios 「刑事訴訟法」メキシコ市 1948

Manuel Rivera Silva 「刑事訴訟法」111版 1963

第十部 國際公法概説
(Síntesis del Derecho Internacional Público)

メキシコ比較法研究所 Madesto Seara Vázquez 研究員執筆

第一章 國際法主体メキシコ國

第二章 國際關係における國際機關

第三章 メキシコ國と諸國際機關

第四章 メキシコ國領土

第五章 メキシコ國の對外政策

第六章 政府の承認

第七章 國家の國際法上の責任

第八章 國際紛争の平和的處理

参考文献(國際公法)

Margarita de la Villa, José Luis Zambrano 「メキシコ法

メキシコ法概觀

文献(國際公法題係 111—1 国際私法概説)

Manuel J. Sierra 「國際公法講義」メキシコ市 1963

C. Sepúlveda 「國際公法講義」メキシコ市 1964

メキシコ國際法雜誌 一九一九年以降発刊

メキシコ外交記録(各種研究論文)外務省発刊 六〇卷

「條約及び協定集」メキシコ外務省発行

外務省覚え書集 每年メキシコ外務省発行

Jorge Castañeda 「メキシコと國際秩序」メキシコ市 1956

J. A. Ceniceros 「メキシコ対外政策」メキシコ外務省発行 1935

メキシコ弁護士協會「國際法におけるメキシコの法的思考」

メキシコ市 ポルーナ書店

I. Fabela 「メキシコ革命中の外交史」11卷 メキシコ市

1958・1959

Belize 「メキシコ権利の防衛」メキシコ市 1944

Belize 「國際問題に関する見解」メキシコ市 オリオン社

A. Gómez Robledo 「アカレリ協定」ボリス出版社 1938

C. Sepúlveda 「政府承認の理論と實際」メキシコ自治大學法

學報發行 1954

第十一部 國際私法概説

(Síntesis del Derecho Internacional Privado)

メキシコ自治大学法学部 José Luis Siqueiros 教授執筆

第一章 歴史的序説

第II章 メキシコの国籍

第三章 外国人の条件

第四章 法律の衝突 (los conflictos de leyes)

第五章 裁判管轄権の抵触 (Conflictos de competencia judicial)

参考文献 (国際私法) (一九四〇年公録集)

Alberto G. Arce 「国際私法」 第II版 グトダウバー市

1940

Guillermo Gallardo Vázquez 「国際私法の発展」 メキシコ市

市 ハベ出版社 1943

Manuel Porrua 「国際私法の理論哲学的基礎」 メ

キシコ市 1960

Enrique Helgueta 「本事公社の国籍」 メキシコ市 1953

Enrique Helgueta 「メキシコ国際私法とベターノ法典」

メキシコ市 1962

Rafael de Pina 「外国人と闇やか法規」 メキシコ市 ナーダ

王出版社 1953

Javier San Martín y Torres 「国籍と居留外国人」 メキシ

ナリ ラーベ出版社 1954

José Luis Siqueiros 「メキシコにおける外国会社」 大学出版

題 1953

José Luis Siqueiros 「メキシコ憲法上の法律の抵触」 メキシ

コ市 ハベ出版社 1957

José Luis Siqueiros 「メキシコ国際私法及び合衆国国際私法

の比較研究」 ボルード書店 メキシコ市 1960

Eduardo Triqueros 「メキシコ国籍」 メキシコ市 ハベ出版

社 1940

Eduardo Triqueros 「国際私法理論の發展」 メキシコ市 ボ

ニク出版社 1938

Eduardo Triqueros 「外国法の適用」 メキシコ市ハベ出版社

1941